

保護者の皆様へ

生徒の学びを止めないための教材について その2

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

臨時休校の期間がまもなく2ヶ月近くとなります。夏休みよりも長い期間、外出自粛ということでお子様が家庭での生活を過ごさねばならない現状に、学校としましても大変心苦しく思っております。

特に1年生は中学校の様子も分からないまま課題が出ておりますので、不明な点もあるのではないかと思います。もしそのようなことがありましたら、どうぞ気兼ねなく学校までご連絡ください。また、お子様が家に籠もっていることで失調状態となり、気持ちのコントロールが難しくなっているという話も報道などで耳にします。そういったご家庭での様子に不安がある場合も学校までご連絡ください。必要ならばスクールカウンセラーと連携し、対応することもできます。どうぞお気軽にご相談ください。

さて、前回のお知らせの後、新たに増えたインターネット上のコンテンツについて2つ紹介いたします。実際に教員も視聴してみて、学びに繋がると感じたものも多くありました。学校再開後に学びが遅れることのないよう、ご活用ください。繰り返しになりますが、使用に関してはご家庭で判断し、ご家庭の責任で利用くださいますよう、お願いいたします。

学びの支援サイト 【東京都教育委員会】	東京都教育委員会が作成している HP です。家庭学習を効果的に進めるために、「時間割を作成する」というプリントが配布されています。また、東京ベーシックドリル、都立高校入試問題（平成31年度）、高校魅力PR動画、文科省のリンク集、経済産業省のリンク集など、多くのコンテンツが紹介されています。	
NHK for School 【NHK】	Eテレで放送している約2000本の教育番組と、それに関連する約7000本の動画クリップを、いつでも、どこでも見ることができます。 【追加情報】 4月から始まった番組が、既にこのHPで見られるようになっていきます。視聴してみてもお子様も興味を持ちそうだなと思うものが多くありました。「テキシコー」というプログラミングの番組は思考を鍛えるのに向いていると思います。また、「高校講座」も小学校での積み残しを整理する内容で取り組みやすいと思いました。番組は10分程度のもので、すぐに見終わることが出来ます。ぜひご活用ください。	

最後に、先日、NHKのEテレ「ウワサの保護者会」という番組で、外出自粛になって保護者と子どもが共にストレスを抱えているご家庭の話が放送されました。その際、子どもが、友達とインターネットを介してビデオ通話をする事でそのストレス解消になるという内容が放送されました。ビデオ通話では、ただ単に話すだけでなく、ゲームをして遊んでいる様子もありました。

諸説ありますが、私たち人間の祖先である「ホモ・サピエンス」は群れを成すことで「ネアンデルタール人」との生存競争を勝ち、繁栄した種と言われております。そのDNAは今でも残っており、人は「誰かと繋がっている」ことで気持ちの安定を得ていると考えられているそうです。

現状の外出自粛は、「新型コロナウイルス」のために人と人の繋がりが分断されてしまっている状況です。大人も子どもも関係なく、すべての人の「人との繋がり」を分断しているウィルスなのですが、現在のテクノロジーを使えば私たちは実際に会わなくても人と繋がることができると思います。

インターネットはトラブルも起こりえるので、完全に安全というわけにはいかないのですが、上手に活用することで今の危機を乗り越えることができると考えます。上手に活用することで、万が一のトラブル回避に繋がればと思います、記事とさせていただきます。なお、インターネット使用に関してはデータ転送量が大きくなるため、wi-fi環境で利用されることを推奨いたします。